

2015-B					
拠出金・基金の 名称		国際農業研究機関拠出金／国際熱帯農業センター(CIAT)			
種 別		イヤーマーク ノン・イヤーマーク			
【拠出先の国際機関名】国際農業研究協議グループ(CGIAR)／国際熱帯農業センター(CIAT)					
【所管官庁担当局課・室名】農林水産省 大臣官房 国際部 海外投資・協力グループ					
【当該任意拠出金の目的・用途等】 途上国農家を実施可能で、農業生産環境の変化に適応した持続的な農業栽培技術を開発するための研究開発を支援する。					
【最近3年間の我が国支払額及びODA率】					
単 位	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千米ドル)	外貨2 (千)	レ ー ト	ODA率(%)
平成27年度	7,604	69		1米ドル = 110円	100
平成26年度	7,449	77		1米ドル = 97円	100
平成25年度	-	-		-	-
【当該任意拠出金等の意義、成果等に関する我が国としての評価】 CIATはCGIARに属する研究機関であり、農業の経済的及び生態的な効率性の向上を目指した研究により、熱帯における飢餓と貧困を削減し、住民の栄養を改善することを目的としている。 近年、開発途上国においては、窒素肥料の過剰な投入により、地下水汚染や温暖化ガスの排出といった問題が生じている一方、後発開発途上国の多くでは、肥料の国際価格の高騰等により肥料の十分な利用が困難な状況にあり、食料増産が阻害されているため、窒素肥料の利用効率を高めることによる低環境負荷かつ低コストな農業技術の開発が求められている。 このような課題に対応するため、CIATへの我が国の拠出金により、Brachiaria属熱帯牧草の持つ生物的硝化抑制能を活用した作付体系を構築し、窒素利用効率を25%向上させることを目的とした研究開発を行うことは意義が大きい。					